

各位

2018年11月8日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比102.7%、学生団体は同111.6%と前年を上回り、団体旅行合計で同104.9%と前年を上回った。企画旅行については前年比99.1%と前年を下回り、個人旅行については同117.9%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比104.4%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は前年比91.3%と前年を下回り、学生団体は同103.7%と前年を上回り、団体旅行合計で同97.1%と前年を下回った。企画旅行については前年比93.6%と前年を下回り、個人旅行については同89.8%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比94.0%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比92.0%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は前年比97.5%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は周年旅行などの取扱人数が増加したほか、視察や会議など業務渡航の取扱が増加し、前年比102.7%と前年を上回った。学生団体は、研修旅行の取扱人数は減少したが、修学旅行の取扱人数の増加や取扱単価の上昇により、同111.6%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比104.9%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比99.1%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アジア、オセアニア方面は好調に推移したが、ヨーロッパ方面一部商品のクラブツーリズム商品への一体化による減少に加え、アメリカ方面などが低調であった。クラブツーリズムは、ヨーロッパやアジア、中国を中心に好調に推移したが、台風やそれに伴う関西国際空港の閉鎖によるツアー取消の影響を大きく受け、厳しい結果となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比104.4%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、個人旅行の宿泊商品などの取扱いは引き続き堅調に推移したが、台風や交通機関の欠航・運休などの影響を大きく受けたレールバスの販売や海外エージェントの取扱いが減少し、前年比92.0%と前年を下回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、観光や親睦旅行などの取扱人数やスポーツイベントの取扱いの減少により、前年比91.3%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行や各種大会などの取扱人数の増加により、同103.7%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比97.1%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比93.6%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、北海道を除く東日本方面は好調に推移したが、台風や豪雨、地震などの被害の影響を受け、被災地を中心とした西日本方面や北海道方面が低調であった。クラブツーリズムは、国内旅行部門、バス旅行部門ともに度重なる自然災害によりツアーキャンセルや顧客の予約取消が相次ぎ、厳しい結果となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比94.0%と前年を下回った。

以上